

料金別納郵便



は や す け ち は る

早助千晴 展

令和7年6月17日(火)~22日(日) 会期中無休

開廊時間：午前11時~午後7時(最終日22日は午後5時まで)

作家在廊日：6月17日(火)

■ 抽選販売について 恐れながら、本展の全ての出品作品を抽選販売とさせていただきます。詳細は、お手数ですが、弊廊 HP (→) をご覧頂ければ幸いです。
抽選の受付：6月17日(火)~19日(木) 弊廊の店頭にて お一人様5点までご応募可



陶歴 平成 元年 兵庫県西宮市生まれ
平成 25年 同志社大学 神学部神学科 卒業
平成 29年 京都わん・碗・ONE 展~次代を担う若者の作品展~優秀賞
平成 30年 京都伝統工芸大学校 陶芸科 卒業、中村陶志人 氏に師事
平成 31年 第14回 能美市美術展 大賞

早助千晴さんは、石川県の金沢市で、磁器に美しい絵付けをなさる九谷焼の女流作家です。その作品は青色を基本に、エキゾチックで細かな幾何学文様が描かれています。その文様のモチーフは月の満ち欠けや星といったもので、彼女が描く世界観は、他の誰とも似ておらず、唯一無二のものです。旅へといざなう様な異国情緒漂う作品と、心豊かで誠実なお人柄も相まって、愛陶家の皆様の心を掴んで離しません。もちろん、かくいう私も早助ファンの一人です。

卯月の一、早助さんを訪ねて、雨の金沢へ向かいました。ご自宅兼工房に着くと、早助さんとご主人が満面の笑顔で出迎えてくださいました。出品予定作品や、制作途中の作品を拝見しつつ、絵付けの製作方法も伺いました。現在の彼女は、九谷焼では一般的な上絵付け師として、生地師の方が制作したボディに一生懸命、描いています。『いずれはボディも自分でロクロをひいて作れれば』と笑顔で話されていました。早助ロクロの作品も楽しみですね。

制作の傍ら、Netflix の米国ドラマを観るのが大好きとのこと。私も昔、米国ドラマの『24』にはまり、主人公のジャックパウワーに憧れていましたので、ご同慶の至りでございます。

弊廊で初めてとなる待望の早助展。うちのお得意様に茶碗にも挑んでくださいました。その他、玉盃、蓋物、一輪挿しなど、異国情緒漂う最新作40点余りを発表致しますので、どうぞご清覧頂ければ幸いです。末尾になりますが、早助さんとの貴重なご縁を頂きました赤絵細描の福島武山先生にこの場を借りて、厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。店主 安田尚史

柿谷ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com

公式Instagram



